



こんにちは！神谷修平です！！

今、京都市動物園の動物たちのエサの一部が、寄付によってまかなわれているのをご存知でしょうか？これは京都市の財政状況が悪化する中、市が動物園運営費の見直しを求めたことによって、動物たちの飼料費の削減が行われたことが原因です。

その一方で…

総事業費269億円もかかる、京都市立芸術大学の移転は可決されたことをご存知ですか？

4割の議員が反対！！ 269億円の巨額支出！！

芸術大学



財政破綻を回避するため、「全庁をあげて全ての歳入歳出を聖域なく見直す」という決意で取り組みを進める中、市立芸大の移転だけが事業の精査を行う前に『別枠』で事業継続を決定しました。

この芸大移転は、数ある事業の中でも際立って予算規模が大きく、国からの補助金もないため市民の税金による負担が特に大きい事業です。

市民サービスの低下も避けられないほど深刻な財政難に加え、コロナ禍で様々な支援や対策が求められている今、私たちは「このような曖昧な事業計画では巨額の投資判断は到底できない」と議案に反対しました。結果、京都市議員の約4割が反対する事態となりました。しかし、自民・公明・民主の各会派の賛成により可決されました。

地域を回ってお話を伺うと、新型コロナの影響によって、多くの業種で売上が激減しています。

行政で全ての人を救うことは難しいかもしれませんが、しかし、地方自治体の役目は国の施策で補いきれない部分を少しでも埋め、市民の命と暮らしを守ることです。我々の責務は、苦しむ人々に気づき、その声を市政に届けることです。大変厳しい財政下ですが、コロナ禍における経済的支援は重要な課題だと考え、引き続き提言して参ります。

こんな財政で、市民サービスが低下しないのかな？心配…

